



学校用教材の価値・役割のこと

私たちは、良質な教材を安定的に供給し、学校・先生・子どもたちをサポートします！



学校用教材は、何をもとに作られていますか？

学校用教材は、指導される先生方・学習する子どもたち両方の側面から次の要素を参考に作成しています。

- 学習指導要領
- 教科書・指導書・年間指導計画
- 評価の観点・評価基準
- 現場の先生の声
- 教材の調査研究 …etc.



教育改革で学びが変わるとのことですが、学校用教材は対応できていますか？

「令和の日本型学校教育」の答申にも対応した教材作成をしています。

令和3年に発表された「令和の日本型学校教育」では、すべての子どもたちの可能性を引き出す、「個別最適な学び」と、「協働的な学び」の実現を目指しています。

学校用教材は、これまでの基礎基本の学力定着に加えて、「個別最適な学び」「協働的な学び」など、今求められている学び(主体的な学び)を意識し、紙・デジタルそれぞれの特長を踏まえた教材を開発しています。



学校用教材はどのようなところにこだわって作成していますか？

加盟各社、こだわりをもって学校用教材を作成しています。

こだわり①

子どもにとって見やすく、わかりやすく、解きやすい教材、先生にとって指導のしやすい、学習効果の高い教材になるように工夫しています。また、学校や児童生徒の実態に応じてお選びいただけるよう、難易度を変えたものや、より学習内容が定着するような児童生徒用の付録や教師用の資料をご提供しています。

こだわり②

教材の内容の改善のため、販売店と連携して、現場の先生方のご意見をうかがう、教育に関する情報を全国から収集して分析研究する、などの活動を常に行っています。

こだわり③

すべての子どもたちに配慮したインクルーシブ対応を心掛けています。

○見ることに困難がある人にも読みやすいとされている「UDフォント(ユニバーサルデザインフォント)」を使用しています。

○色が判別できなくても解くことができるように、設問や図版を工夫しています。

私たち日図協・全図協は、小・中学校用の図書教材類を制作・発行している教材出版社(12社)と教材を供給している販売店が都道府県単位に組織している図書教材協会(現50協会)の団体です。



一般社団法人 日本図書教材協会(日図協)

一般社団法人 全国図書教材協議会(全図協)

〒162-0831 東京都新宿区横寺町6-4-2

TEL: 03-3267-1041 FAX: 03-3267-1047

ホームページ

日図協全図協

検索

<https://nit.or.jp/>



もっと詳しく

知ってほしい



学校用教材の価値・役割のこと



学校用教材は種類ごとに役割が異なります。

学校用教材は、授業や自習、家庭学習などさまざまな場面で学習効果が上がるように作られています。学習の場面ごとに、役割と機能の異なる教材が使われています。

修得教材

学習の導入や学習の過程で、子どもに興味・関心を起こさせ、学習内容をより深化させるための教材。

ex) ワーク、資料集など

習熟教材

繰り返し学習し、同内容・同レベルの問題を数多くこなすことで学習内容の定着を図る教材。

ex) ドリル、プリントなど

評価教材

学習内容の定着状況を確認し、学習のつまづきを発見して診断する教材。

ex) テスト、形成プリントなど



学校用教材は学習指導要領・教科書と連携しています。

日図協においては、主に、教科書の順序・配列・構成に従い、教科書に掲載された素材を利用もしくは参考にして作成したものを「教科書準拠教材」と定義しています。教科書とともに、主に基礎的・基本的な学力の定着の面で学校教育を支えています。

～教科書と関わる学校教材の主な役割～

1. 教科書とつながっていること

学習指導要領

教科書

【習熟】

ドリル・プリント

【評価】

テスト

【分析】

- 学習指導要領とのつながり
- 素材・新出順にまでこだわった児童生徒目線・先生目線の編集
- 学びやすい、教えやすい

【修得】

ワーク・ノート・資料集

- 教科書とは別に指導できる
- 教科書の内容をさらに深める
- 教科書にはない機能を補う

3. 学校主体の指導法や評価法が実現できること

- 教科によって異なる教科書でも、指導法や評価法を統一できる
- 若い先生でもすぐに使えるなど指導の質を担保できる